

まとめの提案（田中委員）：

本検討会では、加速器全体について幅広く検討され、報告書もそれを受けてかなり幅広い内容になっています。しかし、原子力委員会の傘のしたでの検討であることを考慮し、次の点についてはきちんとした意見をまとめておくことが大切だと思います。

- 1) 原子力の研究開発にとって、将来においても加速器の利用は、益々重要な位置を占めるものであり、そのために、加速器の開発、整備が必要である。
- 2) 原子力はエネルギーだけに留まるのではなく、幅広い可能性を有するものであり、加速器はその可能性を拓き、国民の生活向上、科学技術・学術研究の進歩等に大きな貢献をすることができるということ。
- 3) 原子力委員会は、上記の観点から今後も、将来を見通して的確、適正に加速器の開発、整備に大きな役割を果たすべきである。その観点から、4大加速器を促進してきたは、高い評価に値する。財政状況を考慮しつつも、J-PARCやRIBFの計画が着実に進むことが我が国の原子力、科学技術の発展にとって大変重要であるという記述も明確にする。（4大加速器の評価）
- 4) その他、今後は、教育や産業利用の観点から、特色のある中・小型加速器の役割はさらに重要になるとの視点を加える。